

政治と経済は分離しない方が 効率的なのではないですか？



国会等移転は、政治行政の中心と経済の中心を分離することをきっかけにして、官と民の関わり方を見直し、将来の日本の社会を支える新しい関係を創り上げていこうとするものなのです。一定の距離をおくという物理的な変化によって、官と民の意識改革に拍車がかかり、規制緩和など必要な改革を確実に進めていくことができると考えます。

また、逆に規制緩和が進むことによって経済に対する政治行政の直接的な関わりは薄れていきますので、両方の機能が同じ場所にある必要性は少なくなってくると考えられます。

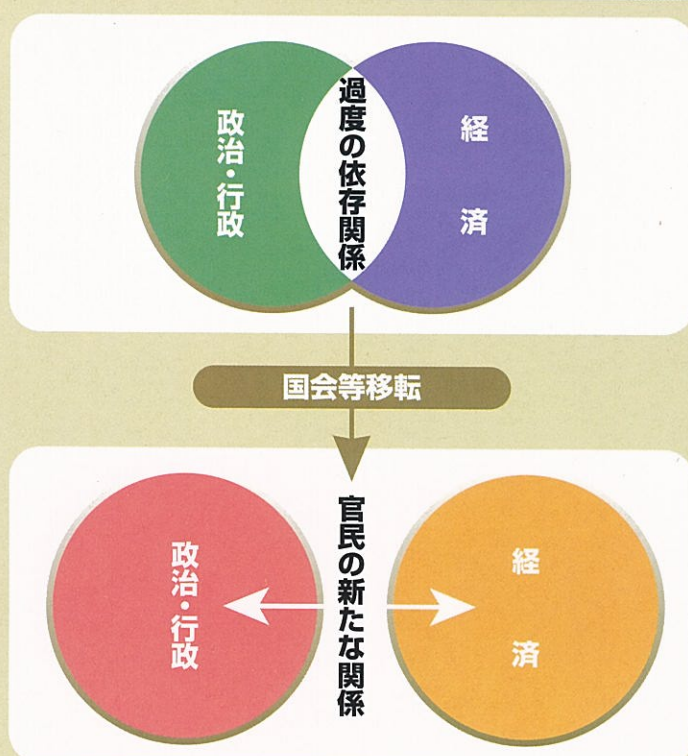
重要

政治と経済は対等な関係を築いていかなければなりません。

いままでの日本は政治、行政、経済の緊密な関係のうえに近代化・経済発展を遂げてきました。

しかし、現在ではその緊密な関係が企業や国民の政治・行政への過度の依存心を生み出し、公平性・透明性に欠けた政治・行政に陥りやすくなってしまいました。

こうした問題を解決していくためにも、国会等移転と規制緩和をはじめとする国政全般の諸改革を「車の両輪」として進めていく必要があります。



もっとくわしく！

政治行政の中心と経済の中心とを分離するもう一つの大きな理由は、国の災害対応力を強化するということです。

地震国の日本には絶対に安全といえる場所はないので、国会等を移転しても意味がないということがよく言われます。しかし、これは国会等移転の「災害対応力の強化」という意義を誤解しているもので、地震災害から政治行政の機能だけを守ることが目的ではないのです。日本の政治行政の機能と経済の機能が同時に麻痺することがないようにすることが国会等移転の目的なのです。

【「首都」と「国会等の所在地」、あるいは「首都」と「経済中心都市」の異なる事例】

	オーストラリア	オランダ王国	ドイツ連邦共和国	イタリア共和国	カナダ	アメリカ合衆国	ブラジル連邦共和国
首都名	キャンベラ	アムステルダム	ベルリン	ローマ	オタワ	ワシントンD.C.	ブラジリア
国会	キャンベラ	ハーグ	ベルリン	ローマ	オタワ	ワシントンD.C.	ブラジリア
行政府	キャンベラ	ハーグ	ベルリン・ボン	ローマ	オタワ	ワシントンD.C.	ブラジリア
最高裁	キャンベラ	ハーグ	カールスルエ	ローマ	オタワ	ワシントンD.C.	ブラジリア
経済中心都市	シドニー	アムステルダム	フランクフルト	ミラノ	トロント	ニューヨーク	サンパウロ

※ ■色の文字は首都を示す (資料) 国土交通省国土計画局で作成